

相模原市公共交通整備促進協議会は相模原市、市議会、自治会連合会、市内各種団体により構成され、昭和44年の設立以来、相模原市域の鉄道、バス交通等、公共交通の整備促進などを目的に鉄道、バス及びタクシー事業者への要望活動や、公共交通の利用促進に向けた啓発活動等を行っています。

Shikōkyō Topic!

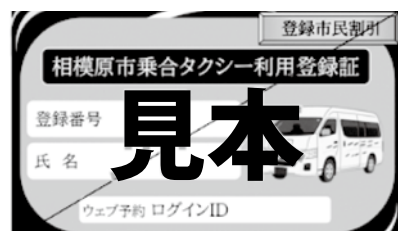
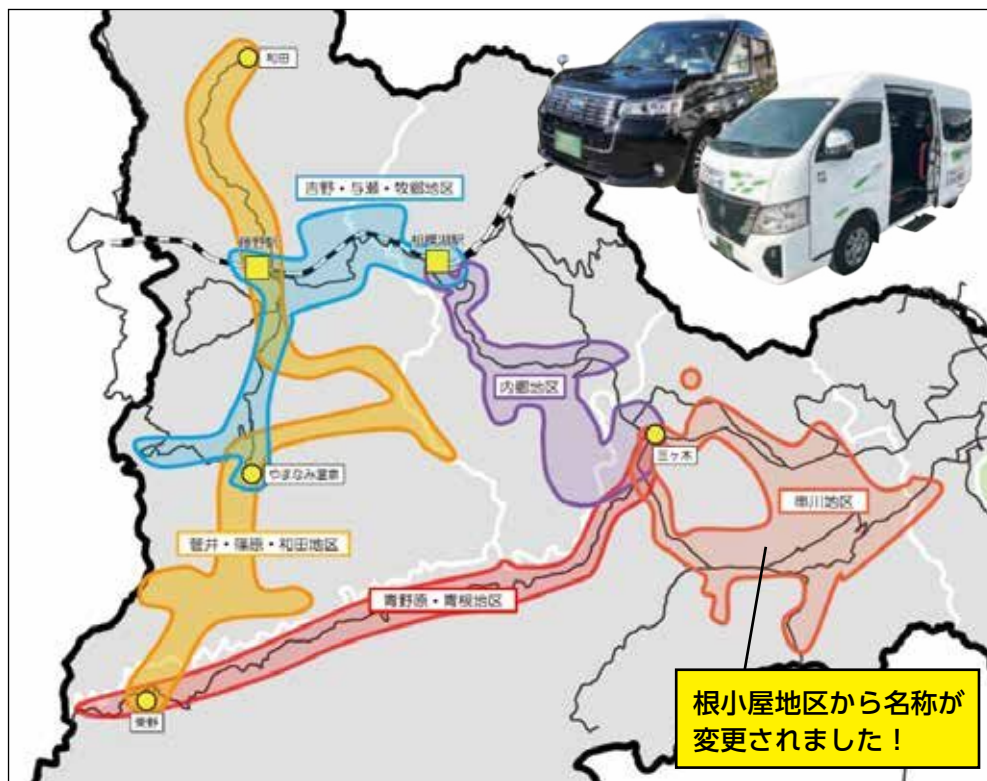
中山間地域の公共交通再編

実証
運行令和7年
10月～

三ヶ木より西の中山間地域では、バスの運転士不足により令和9年3月末までに一部路線（三ヶ木～相模湖駅、名倉循環）を残し、バス路線の廃止が予定されています。

市では、地域住民の移動手段を確保するため、代替交通として令和7年10月から乗合タクシーを活用した実証運行を行っており、令和9年度からの本格運行を目指しています。

令和8年4月からの相模原市乗合タクシーの運行エリア



- ・令和8年4月から一部の地区のダイヤ等が改正されます。乗合タクシーの改正後のダイヤ等、詳しくは市ホームページをご確認ください。
- ・実証運行では、市内在住、在勤、在学の利用登録者の方に「登録市民割引」として運賃が割引かれる仕組みとなっておりますので、ぜひご登録ください。



市ホームページ



利用登録フォーム

市内すべての横浜線の駅でホームドアの設置が完了しました！

令和7年
12月

令和7年12月からJR橋本駅2番線でホームドアの使用が開始されました！

これで市内すべてのJR横浜線の駅へのホームドアの設置が完了しました。



【若葉台地区】 グリーンスローモビリティ本格運行

グリーンスローモビリティとは時速20キロ未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスです。若葉台地区では令和4年度に実証運行に向けた検討を進め、令和5、6年度については実証運行を実施しました。

令和7年4月1日から、本格運行を開始し愛称は「わかば号」となりました。



令和7年
4月

相模原市はシェアモビリティの 新たな協定を締結しました

相模原市は令和4年から民間事業者と協働してシェアサイクル事業を展開してきましたが、新たな協定により自転車に限定せず、ペダルをこがなくても進む電動サイクルなども含めた“シェアモビリティ”の導入・検討を進めています。

導入により、交通結節機能が強化されることで、公共交通の利便性向上等が期待されます。



令和7年
12月

令和7年度の要望活動を実施しました！

令和7年 令和8年
12月 ~ 2月

相模原市公共交通整備促進協議会では、公共交通の利便性の向上に向けて、令和7年12月~令和8年2月に要望活動を行いました！

【令和7年度主な要望】

- ・東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社
横浜線の輸送力増強、相模線の複線化 等
- ・東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社
中央本線の輸送力増強、藤野駅ホームの屋根の増設 等
- ・小田急電鉄株式会社
小田急多摩線の延伸、急行電車の市内駅への停車 等
- ・京王電鉄株式会社
京王相模原線の輸送力増強 等
- ・神奈川中央交通株式会社
バス利用者の利便性向上、自動運転への取組 等
- ・県タクシー協会相模支部相模原地区会
利用者サービスの向上、バリアフリー施策の推進 等

令和7年度
バス交通に関する要望書

相模原市公共交通整備促進協議会
代表幹事 佐藤 隆之 様

相模原市公共交通整備促進協議会

相模原市が目指す将来の交通のすがた

市ホームページ（交通計画）▶

相模原市では、令和4年3月に「相模原市総合都市交通計画」を策定し、鉄道や路線バスなどの公共交通中心の持続可能な交通体系の確立を目指しています。

また、「将来の交通のすがた」の実現に向けて、地域交通法の改正や公共交通の運転士不足等の課題の顕在化といった、近年の交通政策を取り巻く環境の変化に対応できるよう、令和7年12月に計画を一部見直しました。



都市交通の充実のために寄附であなたも市政に参加してみませんか！

市ホームページ（交通基金）▶

相模原市では、都市交通施設の整備にかかる費用の一部にするため、都市交通施設整備基金への積立を行っており、市民の皆様や企業などからの寄附を受け付けています。詳しくは事務局までお問い合わせください。



相模線複線化等促進期成同盟会 公式SNS

相模線の沿線情報や同盟会の取組などを発信しています！

公式ホームページもチェック♪

GOGO相模線



公式X



公式HP